

# ぼくの家猫

## —動物を飼うことで知った命の重み—

- 1 学 年 第5学年〔中期〕
- 2 主題名 生命尊重〔3—(1)〕
- 3 ねらい お母さんの本当の思いを聞いた時のぼくの気持ちを考えることを通して、命がかけがえのないものであることを知り、命あるものを大切にしていこうとする態度を育てる。
- 4 資料名 「ぼくの家猫」
- 5 展 開

	学習活動と主な発問	児童の反応	指導上の留意点
導 入	1 動物の写真を見て、感想を自由に発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かわいいな。ぬいぐるみみたいだね。</li> <li>・ 飼いたいな。</li> </ul>	○ 資料に登場する動物についての興味・関心を高める。
展 開	<p>2 資料「ぼくの家猫」を読んで話し合う。</p> <p>○ ぼくはどんな気持ちからみんなの家で飼ってもらえるかどうかを聞くことにしたのでしょうか。</p> <p>○ お母さんに、子猫を飼えないと言われたぼくは、どう思ったでしょう。</p> <p>◎ お母さんの本当の気持ちを聞いて、ぼくはどんなことを考えたでしょう。</p> <p>3 自分たちの生活を振り返って話し合う。</p> <p>○ 自分の飼っている動物や学校で飼っている動物に対して今までどのように接していましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しっぽが無く、片目が見えなくなっているからかわいそうだ。</li> <li>・ 体がやせ細って死にそう。</li> <li>・ なんて薄情なんだ。お母さんなら、飼ってくれると信じていたのに。</li> <li>・ 猫が死んだらどうするんだよ。</li> <li>・ お母さんはこれから先のことまで考えていたんだね。</li> <li>・ 動物だってぼくらと同じ命をもっているんだね。飼うということは、命に対して責任をもつということなんだね。</li> <li>・ 一時の感情で飼うのはいけない。</li> <li>・ 学校のウサギをもっとかわいがろう。世話もしっかりとしよう。</li> <li>・ 小さくても命は命。どの命も大切だから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 猫のけがの具合や衰弱している様子を押しさえる。</li> <li>○ 自分と母親との猫に対する思いの違いを押しさえることにより、主人公の気持ちに共感させる。</li> <li>○ 母親の思いを知ったぼくの気持ちをワークシートに書かせることによって命に対する思いを深めさせる。</li> <li>○ 自宅で動物を飼っていない児童もいると考えられるため、学校での当番活動の仕方についても考えさせる。</li> <li>○ 理由も言わせることで、道徳的実践力につなげるようにする。</li> </ul>
終 末	4 教師の説話を聞く。		○ 最後まで生き物を飼った経験を話すとともに、映像資料を提示する。

## 6 授業の概要

### (1) 主題について

かわいい、いやしてくれる等の理由で人は動物を飼う。最近では、ファッション感覚で外国からめずらしい動物が輸入されるケースもある。しかし、興味があれば世話をするが、飽きたら世話をしなくなったり捨ててしまったりするケースも見られる。このような風潮の中において、動物の命も人間の命も同じ命であることに気付かせ、命を大切にしようとする態度を育てたい。

### (2) 自作資料活用のポイント

#### ア 活用の時期

生き物を育てる等の新たな当番活動が始まる4月、活動に慣れが生じる一方で気が緩みやすい2学期等に実施するとよい。

#### イ 中心場面で考えさせたいこと

捨て犬や捨て猫を飼いたいと思う児童は多いと思われる。そのため、資料の主人公に共感しやすく、主人公の言動を考えることを通して、児童自らが自分自身を見つめることができる。中心発問で、母親が飼うことを断った理由を考えさせることを通して、命の大切さや命に責任をもつことの難しさを感じ取らせたい。

### (3) 指導過程の工夫

#### ア 導入の工夫

導入では、動物の写真を準備し、動物のかわいさを強調することで、資料に対する興味をもたせたい。

#### イ 発問構成の工夫

中心発問までの基本発問では、主人公の見つけてきた「小さくてかわいい子猫」「弱っていて死にそうな子猫」を飼ってもらえないくやしさを、母親の冷たさ等をとらえさせておく。

中心発問では、ひどい状態なのになぜ母親がすぐに飼おうとしなかったのか、飼うと決めたときの母親の態度・気持ちはどうであったのか等について考えさせることを通して、命の重みや大切さに気付かせたい。

#### ウ ワークシートの工夫

母親の本当の思いについて深く考えさせ、自分の考えをもたせるためにワークシートに書かせ、話し合い活動を充実させたい。

#### エ 振り返りの工夫

学校での児童の動物の世話の仕方を振り返らせ、小さくても同じ命であることに気付かせたい。

#### オ 終末の工夫

プロジェクターで、猫・犬などの動物や人間がそれぞれ明るい笑顔で生活している場面を映し出し、命のすばらしさをより強く感じ取らせ、余韻をもたせる終末にしたい。

(渡子小学校 深見敏美)